

## 平成 29 年度 第 4 回 門真市子ども・子育て会議 就学前教育・保育部会に係る審議経過について

◆ 日 時：平成 30 年 2 月 26 日（月） 午後 2 時 00 分～午後 2 時 40 分

◆ 議 題：1. 利用定員の設定について  
2. その他

◆ 主な審議内容

議題	内容	委員からの主な意見	部会での審議結果
【議題 1】 利用定員の 設定につい て	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 30 年度 4 月 1 日から新たに開園する認定こども園、小規模保育事業など 5 園の利用定員について提示。</li> <li>• 27 年度から 29 年度までの計画の進捗状況及び 30 年度、31 年度の確保予定として、計画の中間見直し審議時の実績値及び 30・31 年度の計画（確保方策について数カ所修正）を提示。</li> </ul>	<p>① 子どもの少子化の傾向はいつ頃から顕著になっていくのか。保護者の就業率の傾向はどのようになっていくと見込んでいるか。</p> <p>【事務局回答】</p> <p>子どもの数自体は以前のニーズ調査時から減少傾向ではあるが一方で保育の利用率は増加している。今後のニーズの傾向や施設の整備、定員の拡充状況を踏まえ、分析していく必要がある。</p> <p>② 保育定員の確保として新規の施設をつくるだけでなく、国の制度としても動き出している、幼稚園の余裕教室を活用しての 2 歳の受け入れについても、うまく利用するのが良いのではないか。</p> <p>【事務局回答】</p> <p>幼稚園の意向や体制にも関わるため、計画の進捗状況を踏まえ、その進み具合や子どもの数の状況によって、事業者と検討していきたい。</p> <p>③ 市の施策としては、人口の流入を目指した施策展開としているのか、人口流出を防ぐ方向で施策を考えているのか。</p> <p>【事務局回答】</p> <p>市としては流入を目指している。人口の減少率を抑え、数を保っていくには</p>	<p>新年度より、新規認可等により新たに設定する利用定員については、すべて承認。</p>

		<p>流入まで先を見越して取り組まなければならないと考える。</p> <p>④ 人口の流入を目指す上で、4歳児の無償化をさらにPRするような考えはないか。</p> <p>【事務局回答】      広報掲載や報道提供はしているが、その他については検討する。</p> <p>⑤ 守口市では兄弟で同じ園に入ることができないことが多い。</p> <p>⑥ 守口市では無償化を目当てに引っ越してきた人が保育所に入ることができて、長く市内に住んでいる人が保育所に入れない、ということが起きている。門真市はまだ4・5歳のみだが、同様のことが今後起こる可能性もあるのではないか。</p> <p>⑦ 小規模保育事業所が増えるが、3歳児での待機児童は今のところ発生していないか。</p> <p>【事務局回答】      29年4月時点では小規模からの卒園児は全て受け入れができていたが、今年度はまだ選考結果が出ていないため、その点については注意深く状況を見ていく。</p> <p>⑧ 幼稚園からの移行を、幼保連携型だけでなく幼稚園型も認めれば、移行しやすく、3歳からの受け皿にもなるのではないか。</p> <p>【事務局回答】      施設整備補助金の対象としては幼保連携型が優先されるが、幼稚園から幼稚園型認定こども園への移行を認めていないわけではない。</p>	
--	--	---	--

<p>【議題2】 その他</p>	<p>・情報提供として、国の幼児教育の段階的無償化及び市の保育料における対応について説明。</p> <p>【国の無償化内容】</p> <p>① 特定教育・保育施設等の利用者負担の軽減として、1号認定の年収約360万円未満の世帯（ひとり親世帯等を除く）の保育料を軽減。</p> <p>② 新制度に移行していない私立幼稚園の利用者負担の軽減として、年収約360万円未満の世帯の補助限度額を拡充。</p>	<p>①対象者としてはどの程度の数を見込んでいるのか。</p> <p>【事務局回答】</p> <p>対象人数としては十数人程度と、かなり少ない人数と見込んでいるため、影響はあまりないと考えている。それよりも4・5歳の無償化の方が影響が大きいため、これについては特に、予算を細かく積算し対応している。</p>	<p>—</p>
----------------------	---	---	----------